

【専大スポーツ】<https://www.senshu-u.ac.jp/sports/>

# 専大スポーツ

No. 438

## 最優秀団体賞 2年連続

# スピードスケート部

## 最優秀選手賞 3年連続

# 森重 航 (スピードスケート部)



最優秀団体賞のスピードスケート部と松木健一理事長(左)ら

### 第62回体育会表彰式

第62回体育会表彰式が3月17日、生田キャンパスで開かれ、2022年度に国内外の大会で輝かしい成績を残した16団体、133人(重複含む)が表彰された。

最優秀団体賞は2年連続でスピードスケート部が、最優秀選手賞は3年連続で森重航(経営4・山形中央高)スピードスケート部)が受賞した。最優秀団体賞のスピードスケート部は、日本学

生水上競技選手権(インカレ)のスピード部門で総合優勝し、3連覇を達成。ナショナルチームで活躍する森重や野々村太陽(経営3・白樺学園高)らに加え、インカレの1万7千で大会レコードを記録した菊池健太(経営2・白樺学園高)など新戦力も台頭した。主将の堀川翼(経営4・白樺学園高)は「昨年に続いて最優秀団体賞を獲得でき、うれしく思う。たくさん応援

最優秀新人賞もスピードスケート部から、躍進した笠原光太郎(経営1・帯広三条高)が選出された。中学時代に全国優勝、高校で世界を経験した。専大入学後の今シーズンもジュニアワールドカップ第1戦と第3戦の1500mで優勝するなど期待通りの戦績を残し、「うれしい気持ちでいっぱい」と語った。(秋原健丸・経営1)

### 5人に川島記念特別功労賞

表彰式に合わせて、川島記念特別功労賞の授与式が行われた。冬季ワールドユニバーシティゲームズのスピードスケート競技でメダルを獲得した森重航、野々村太陽、蟻

### 受賞団体・選手

- 学生の敬称。カッコ内は部名。★は新人賞、●は校友会学生奨励賞の受賞者。
- 【最優秀団体賞】
    - ▽スピードスケート部 ●
  - 【優秀団体賞】
    - ▽水泳部(水球)
    - ▽卓球部(女子)
    - ▽バスケットボール部(男子)
    - ▽フencing部(男子)
    - ▽フencing部(女子)
    - ▽レスリング部
  - 【敢闘団体賞】
    - ▽ローラースケート部
  - 【最優秀選手賞】
    - ▽森重航(スピードスケート) ●
    - 【最優秀新人賞・優秀選手賞】
      - ▽笠原光太郎(スピードスケート) ●
  - 【優秀選手賞】
    - ▽福住修(ゴルフ) ●
    - ▽浦至児(水泳・水球) ●
    - ▽中丸雄哉(水泳・水球) ●
    - ▽松本祥次(以上スキー) ●
    - ▽堀川翼(以上スキー) ●
    - ▽蟻戸一永(以上スキー) ●
    - ▽野々村太陽(以上スキー) ●
    - ▽菊池健太(以上スキー) ●
    - ▽三井晃太(以上スキー) ●
    - ▽谷田博登(以上スキー) ●
    - ▽大谷謙
  - 【特別賞(校友会・B.O.G.会賞)】
    - ▽八木さくら(テニサー)
    - ▽齋藤慎太郎(カヌー)
    - ▽織茂峻伍(佐藤優磨)
    - ▽岡本頼知(水泳・水球)
    - ▽坂井冠太(久保雅)
    - ▽上村太陽(福田翔也)
    - ▽上村太陽(福田翔也)
    - ▽阿部悠人(野田颯太)
    - ▽永道麻依加(出澤杏佳)
    - ▽松岡寛
    - ▽石川真真(以上馬術)
    - ▽菊地更玖(野球)
    - ▽伊藤由信(内田貴斗)
    - ▽川原大夢(徳力貴太)
    - ▽太田晃暉(曾根敬次郎)
    - ▽野坂晃哉(渡部泰世)
    - ▽西田衛人(伊藤翔哉)
    - ▽高原崇陽(永野颯大)
    - ▽向田旭登(小林奏音)
    - ▽福永誠笑(笠井梨瑚)
    - ▽上レスリング
  - 【功労賞】
    - ▽横山良光氏(空手部監督)
    - ▽染谷芳夫氏(空手部総師範)
    - ▽奥村義彰氏(スキー部監督)
    - ▽蒲田重勝氏(相撲部監督)
    - ▽阿部勝幸氏(卓球部監督)
    - ▽中原雄氏(バスケットボール部女子コーチ)
    - ▽荻原和夫氏(ボテイル部監督)
    - ▽村田互氏(ラグビー部監督)
    - 【学生功労賞】
      - ▽奥川朋紀(体育会本部委員長)
      - ▽相模 大(大領玲奈)
      - ▽渡邊未来(体育会本部情報編集長)
      - ▽菅川美花(水泳・水球)
      - ▽安徳風人(剣道)
      - ▽清野真貴(バレーボール)
      - ▽菊池正太郎(フencing)
      - ▽吉田博登(野球)
      - ▽武田圭祐(ラグビー)
    - 【学生感謝状】
      - ▽学生自治会
      - ▽全学応援團

# 森重 有終の銅



メダルを手に笑顔の森重

ISU世界スピードスケート選手権大会が3月25日、オランダ・ヘレンベールで有終の銅メダルを獲得した。

男子500mに森重航が出場し、34秒48で3位。大学生生活最後の大会。森重は「オリンピック以外のシズンは、世界選手権で結果を出す

### 世界選手権 500m

これを大きな目標としていた。実現できたことを自分でも評価したい」と振り返った。

森重は、2月のワールドカップ第5戦ポロラン大会の500mで優勝した。「レースを重ねると変化しており、自信を持ってレースに臨めた」と語った。

ワールドカップ第5戦では、1500mで野々村太陽が8位となった。(秋原)

### 坂井 3位入賞

全日本学生スキー選手権大会(2月21-26日、秋田県・花輪スキー場)が、

坂井冠太(経営2・十日町高)がクロスカントリースキー男子10kmフリーで3位に入賞した。

30キロクラシカルでも5位となった坂井は、「この大会での表彰台を目指して、夏から練習に取り組んできた」と振り返り、

目標達成に充実の表情。アルペンでは、女子スパー大回転(SG)で伊藤陸(商4・若松商高)が4位、同男子で中丸雄哉(経営4・南会津高)が9位。また、クロスカントリースキー男子リレー(7・5キロ×4)で6位となるなど健闘し、各種目の入賞ポイントによる団体は、男子が9位、女子が11位だった。(小池佳歌・文1)

### 笠原 2位

さらなる飛躍誓う



表彰式で入賞を喜ぶ笠原

男子1500mで、笠原光太郎が1分47秒14の好タイムを記録し、2位となった。

また、チームパシニエトで3位、5000mで8位と健闘した。

今年度はジュニア部門で好成績を残し続け、ジュニアワールドカップに次ぐ入賞となった笠原。来年度からはシニア部門に移行する。その中でも負けないように精進し

### 前嶋名誉教授が講演 第59回リーダースキャン



リーダーのあり方について語る前嶋名誉教授

体育会各部の主将・主務が集まり、研修を通してリーダーのあり方や心構えを学ぶ第59回リーダースキャンが2月27、28日に静岡県伊東市で開

催された。参加人数は101人で、対面での開催は3年ぶり。

初日はスピードスケート部前監督で本学名誉教授の前嶋孝氏による講演と、リーダーに必要なスキルを体得することを目的としたグループワークを実施。2日目は学んだ知識を活用するプログラムが行われた。

研修を通して各部のリーダーたちは意気投合。それぞれのチーム作りについて活発な意見交換が行われた。(河上明来海・文2)写真も)